

IRミーティング

2012年3月期決算概要

科研製薬株式会社

2012年5月14日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

会社概要

2012年3月31日現在

- 科研製薬株式会社
- 代表取締役社長 大沼 哲夫
- 創業 1948年3月1日
- 資産合計 105,108百万円(連結)
- 資本金 23,853百万円
- 株主資本合計 61,520百万円(連結)
- 主な事業内容 医薬品、医療機器、農業薬品、飼料添加物の製造・販売
及び不動産の賃貸
(医薬品等 90.5% 農業薬品 5.3% 不動産 2.8% その他 1.4%)
- 主な事業所 全国9支店69営業所、静岡研究所、京都研究所、静岡工場
その他 米国に駐在員事務所
- 従業員数 1,668名(連結)
内 営業本部 979名、研究開発本部 266名、生産部門 220名
- 株主構成 株主数 13,242名 単元株主数 10,480名
(個人 27.5% 金融機関 30.7% 国内法人 10.5% 外国人 16.6%)
- 子会社 科研不動産サービス(株)、科研ファルマ(株)

2012年3月期決算のポイント

- 10期連続の増益を確保
 - アルツ・セプラフィルム・ジェネリック医薬品の伸びが増収に寄与
 - 前期に導入したクレキサンも増収に寄与
 - 売上高・営業利益ともに過去最高を更新
- 10期連続の増配および自社株買いを実施
 - 4円増配し、年間配当40円(配当性向: 43.3%)
 - 315万株の自社株買いをし、流通株式数は88,380千株に

2012年3月期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2011年 3月期	2012年 3月期	増減	前年比 (%)
売上高	86,428	87,997	1,568	101.8
営業利益	14,179	15,180	1,001	107.1
経常利益	13,713	14,803	1,089	107.9
税引前当期利益	13,545	14,566	1,020	107.5
当期純利益	8,213	8,282	69	100.8

- ・ 増収増益
- ・ アルツ、セプラフィルム、ジェネリック医薬品が伸長し増収に寄与
- ・ 前期に導入したクレキサンも増収に寄与
- ・ 販管費:27,884百万円
- ・ 10期連続の増配

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2011年3月期	2012年3月期	増減	前年比 (%)
医療用医薬品・医療機器	75,787	76,933	1,146	101.5
農業薬品	4,319	4,630	310	107.2
不動産賃貸料	2,440	2,420	▲19	99.2
その他	3,881	4,012	130	103.4
合計	86,428	87,997	1,568	101.8

販管費効率化への取り組み

(百万円未満切捨)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期
売上高	82,930	85,022	86,428	87,997
販管費	29,156	29,120	28,185	27,884
研究開発費	7,696	7,873	6,853	6,592
研究開発費を除く 販管費	21,460	21,247	21,332	21,292
対売上高比率	25.9%	25.0%	24.7%	24.2%

連結貸借対照表の推移

借方

貸方

(単位:百万円未満切捨)

	2011年 3月期末	2012年 3月期末	増減		2011年 3月期末	2012年 3月期末	増減
流動資産	56,885	63,214	6,328	流動負債	31,466	36,354	4,887
固定資産	41,607	41,893	286	固定負債	6,651	6,682	31
資産合計	98,493	105,108	6,615	負債合計	38,117	43,036	4,919
				純資産合計	60,375	62,071	1,695

主な変動科目 (百万円未満切捨)

◆資産 現金及び現金同等物 : 17,851百万円 (+ 816 百万円)

◆負債 有利子負債 : 8,390百万円

◆純資産 利益剰余金 : 38,672百万円 (+ 4,866百万円)

自己株式 : 12,592百万円 (+ 3,491百万円)

※ B/S上は純資産の減算項目です

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2011年 3月期	2012年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,142	10,285	▲2,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲6,302	▲2,563	3,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲7,309	▲6,904	404
現金及び現金同等物の期末残高	17,035	17,851	816

- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益：14,566百万円
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得：1,873百万円
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
自己株式取得額：3,491百万円
配当金支払額：3,413百万円

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2011年 3月期	2012年 3月期	前年比 (%)
アルツ	30,840	31,836	103.2
セプラフィルム	9,580	9,967	104.0
アドフィード等	7,988	7,473	93.6
プロサイリン	5,893	5,404	91.7
リピディル	4,194	4,118	98.2
フィブラストスプレー	3,946	3,934	99.7
エブランチル	2,052	2,139	104.2
ジェネリック医薬品計	7,852	8,520	108.5

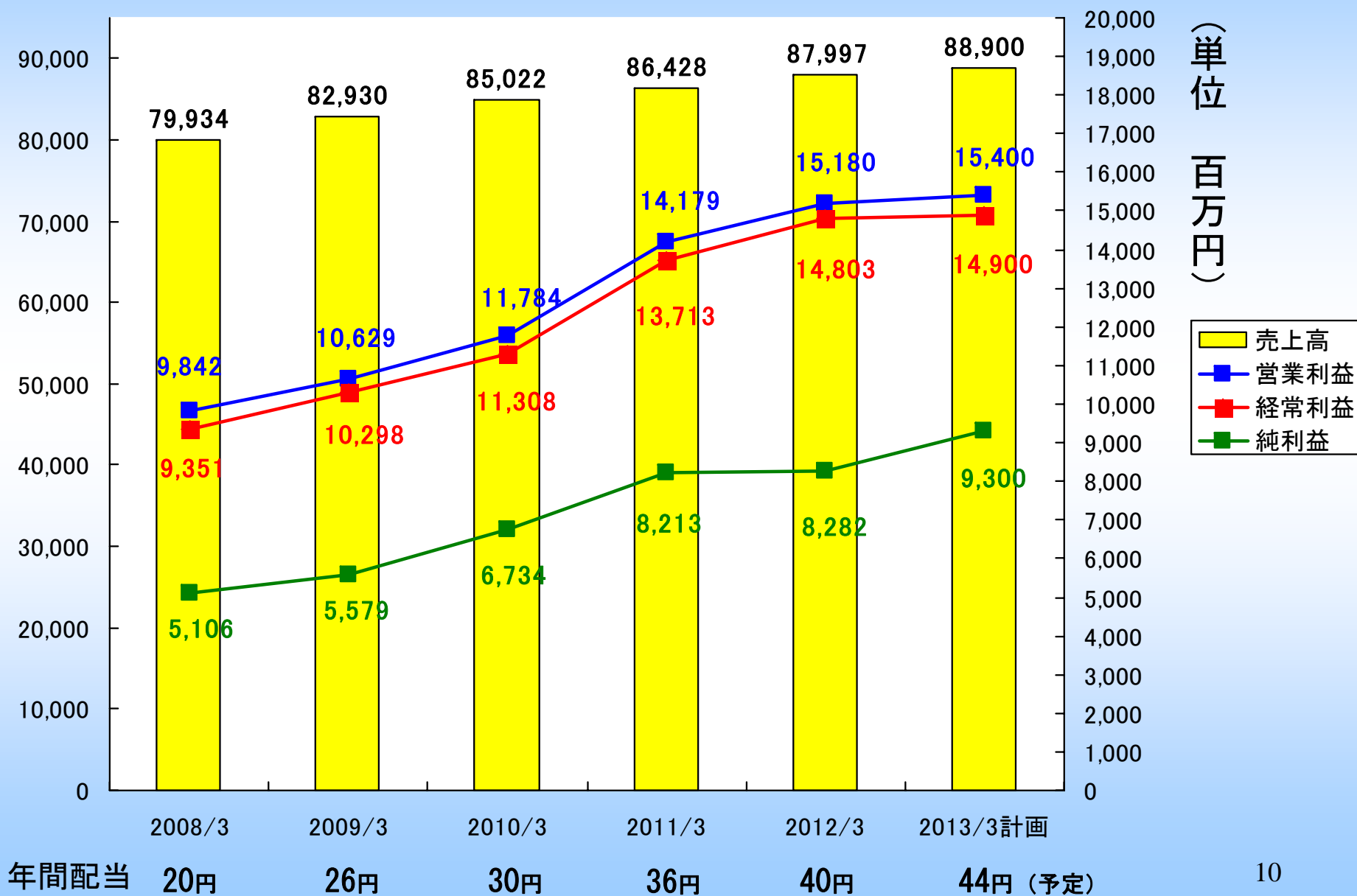
・アルツ
DTC活動の継続とともに、市場ニーズに応えた3剤形の品揃えにより売上が伸長

・セプラフィルム
外科での消化器がん、産婦人科での帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長

・エブランチル
神経因性膀胱に伴う排尿困難への使用拡大により伸長

・ジェネリック医薬品
既存の製品を中心に伸長

業績推移(連結)



開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
※ 1	KP-103 (IDP-108)	爪真菌症	申請準備中	2013	外用剤 海外ではバリアント社がFDAに 申請準備中
※ 2	KCB-1D	歯周病	PⅢ	2015	bFGF
3	KCB-1B	骨折	PⅡ終了 次相準備中		bFGF
4	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ株式会社と共同開発 「ベラサス」効能追加
※ 5	SI-657	腱・靭帯付着部症	PⅡ	2016	生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

販売権取得への取り組み

- **吸収性局所止血材「TDM-621」で販売提携**

当社と扶桑薬品工業株式会社は、株式会社スリー・ディー・マトリックスが医療機器として製造販売承認申請中である、吸収性局所止血材「TDM-621」の日本国内における販売提携について、基本合意に達しました。

- **腰椎椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」で販売提携**

生化学工業株式会社がPⅢ実施中の腰椎椎間板ヘルニアを適応症とする「SI-6603」(一般名:コンドリアーゼ)の日本国内における独占販売権に関して、基本合意に達しました。

2013年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2012年 3月期 実績	2013年 3月期 計画	増減	前年比 (%)
売上高	87,997	88,900	903	101.0
営業利益	15,180	15,400	220	101.4
経常利益	14,803	14,900	97	100.7
税引前当期利益	14,566	14,800	234	101.6
当期純利益	8,282	9,300	1,018	112.3

・11期連続の増益を計画

・販管費：286億円

(前年比 7億円増)

研究開発費：74億円

(前年比 8億円増)

・11期連続の増配を予定

4円増配し、年間44円配当

(配当性向：41.8%)

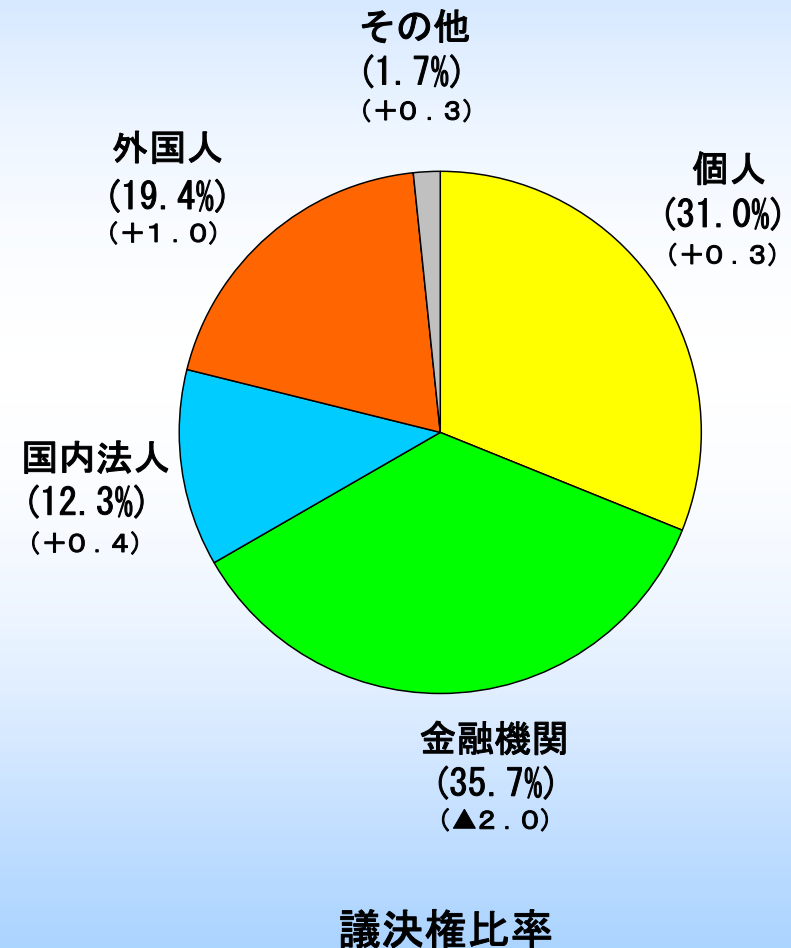
医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2012年 3月期 実績	2013年 3月期 計画	前年比 (%)
アルツ	31,836	32,300	101.5
セプラフィルム	9,967	10,800	108.4
アドフィード等	7,473	6,900	92.3
プロサイリン	5,404	5,100	94.4
リピディル	4,118	4,200	102.0
フィブラストスプレー	3,934	4,100	104.2
エブランチル	2,139	2,200	102.9
ジェネリック医薬品計	8,520	9,500	111.5

- 8支店 8営業部 69営業所体制にして営業基盤を強化
- アルツ:
「変形性膝関節症」への疾患啓発活動を更に充実させ、市場の拡大を推し進める
- セプラフィルム:
がん領域、帝王切開および腹腔鏡手術への浸透を図る
- リピディル:
飲みやすくなった錠剤の普及を進め、ガイドライン情報の活用により更なる拡大を図る
- フィブラストスプレー:
創傷関連ガイドライン情報の活用により、更なる普及を図る
- ジェネリック医薬品:
6月に3品目の新発売を予定

大株主一覧表(2012年3月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,890	5.6%
2	東レ株式会社	4,589	5.3%
3	株式会社みずほ銀行	3,937	4.5%
4	農林中央金庫	3,686	4.2%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,283	3.8%
6	日本生命保険相互会社	1,700	1.9%
7	科研製薬従業員持株会	1,645	1.9%
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,446	1.7%
9	メロンバンク エヌイー アス エージェント フォー イツ クラ イアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,389	1.6%
10	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.4%



※自己株式数: 13,498千株